

会議結果報告

1 会議の名称

令和5年度第2回光市環境審議会

2 開催日時

令和5年11月16日（木）15時30分～16時20分

3 開催場所

市役所本庁3階 第5会議室

4 出席人数

委員9人（5欠席）、事務局7人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長あいさつ

先日の読売新聞の記事では、2030年目標である温室効果ガス排出量43%減に対し2%減、気温上昇幅は1.5度以内に抑える目標に対し1.1度上昇とあり、非常に厳しい状況である。地球人として、光市民として、我々ができることを皆様と一緒にやっていきたいと思っているので、よろしくお願いいたします。

（3）議事

ア 第2次光市環境基本計画の取組状況 令和4年度（最終年度版）について
環境政策課職員により配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

（委員）

達成率として想定以上に達成できた、逆に想定とはかなりかけ離れてしまったと
いろいろあると思うが、どのように分析し、令和5年度以降に反映しているか。

（事務局）

指標のアンケートの満足度が軒並み下がっているが、このアンケートの実施時期が令和3年夏から秋にかけてコロナが一番流行っていた時期であり、環境に対する意識が低かったことが一部にはあったと考えている。また、近年の環境課題である、脱炭素、カーボンニュートラル、災害の原因となる気候変動などが日々報道され、環境に対する意識の高まりが期待されたが、それが結果に繋がっていないことが課

題と分析している。

アンケート結果などの評価については、第3次環境基本計画の第3章に集約し、新しい計画に反映している。

イ 令和5年度環境関連施策について

環境政策課職員により配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

省エネ家電買替応援キャンペーンが非常に大人気事業で、補正予算も使い金額が大きいですが、これによりCO₂削減効果はどのくらいか。

また、前回の環境審議会の中で頑張っている企業の評価をと話したが、それに関する進捗状況を教えてほしい。

(事務局)

省エネ家電買替応援キャンペーンのCO₂削減効果は、環境省公表の省エネ製品の買替ナビゲーションで、一般的な10年経過した製品と省エネ製品を比べて試算した推定値が、エアコンは1台あたり年間約146kg-CO₂削減、冷蔵庫は1台あたり年間約64kg-CO₂削減となる。これは一定の条件下における比較であり、買替前の製品、買替時期、買い替えた製品、世帯の状況や使用頻度などの条件によって変わるため目安である。この推定値から計算すると全体で65,506kg-CO₂削減となり、本市の年間17世帯分の排出量に相当する量となる。

また、企業の応援の評価について、すぐできることとして、例えばノーマイカー運動推進キャンペーンや省エネ活動キャンペーンのチラシ等に協力企業名を掲載し、企業の協力体制を全面に打ち出した事業展開を今年度から取り入れたところである。

(委員)

この場での発言は、しっかり残していただき、実行できなくてもしっかりと理由を言ってもらうなど、フィードバックがあれば継続的改善が図られ、より良い活動ができると思う。

(委員)

エコスタイルガイドブックは分かりやすく出来ているが、今後、市民にどう届けて協力を求めるのか。また、どういった人に見てほしいか、子どもに対してはどう考えているか。

(事務局)

地球温暖化対策の観点から紙で配布することは、今回のような会議や環境学習だけと考えており、12月号の広報紙にエコスタイルガイドブックのQRコード掲載や、HPでの紹介など、なるべく印刷しない形で周知をしていく予定である。対象は全ての世帯としており、全市民に見ていただきたいと考えている。子どもについては、現在、子ども版の作成を検討中である。

(4) 閉会